

令和3年度使用中学校用教科用図書採択結果及び採択理由

桶川市教育委員会

採択理由

桶川市教育委員会では、第七採択地区教科用図書採択協議会の協議の結果に基づいて審議に付し、承認されたため、令和3年度使用中学校用教科用図書を以下のとおり採択しました。

教科・種目名	発行者名
国語	光村図書出版
書写	光村図書出版
社会 (地理的分野)	東京書籍
社会 (歴史的分野)	東京書籍
社会 (公民的分野)	東京書籍
地図	帝国書院
数学	東京書籍
理科	教育出版
音楽 (一般)	教育芸術社
音楽 (器楽合奏)	教育芸術社
美術	開隆堂出版
保健体育	大修館書店
技術・家庭 (技術分野)	開隆堂出版
技術・家庭 (家庭分野)	開隆堂出版
英語	開隆堂出版
道徳	学研教育みらい

令和3年度使用 第七採択地区中学校用教科用図書選定理由

教科 種目名	発行者 略称	選定理由
国語	光村	<ul style="list-style-type: none"> ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、学習の見通しをもたせるよう学習過程を具体的に明示している。 ・問題解決的な学習に主体的に取り組めるよう工夫している。 ・「読むこと」と「書くこと」を結び付け、多面的に思考できるようにしている。「話す」「聞く」の教材が多く、言語活動の充実が図られている。
書写	光村	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の基本構成を明示し、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。 ・「書写で学ぶこと」と「書写の学習の進め方」がわかりやすく解説されている。また、「書写ブック」が別冊となり、練習量が確保されている。 ・手紙、葉書の書き方、入学願書の書き方など、生活に関連するページが多く、書に関する周辺知識が増える。
社会 (地理的分野)	東書	<ul style="list-style-type: none"> ・単元を貫く学習課題が設定され、学習過程で働かせる「見方・考え方」を明示しており、学習を深める中で、言語活動の充実を図っている。 ・「まとめの活動」のページ等に思考ツールが示され、生徒自身が単元で学習した過程を振り返ることができる。 ・3分野の関連を明確化し系統的な学習への助けとしているほか、探究課題が構造化されて課題解決学習に取り組みやすい。
社会 (歴史的分野)	東書	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史の流れが大観できるよう、年表の読み取り方や新聞のまとめ方等の技能を学ぶとともに、学び方の視点や方法として活用することができる。 ・思考ツールを活用した学習活動があり、考えをまとめるための工夫がなされている。また、まとまりを重視した探究課題が設定され、主体的に課題解決学習を考えられるように工夫されている。 ・現代的な諸課題に対して、生徒が歴史を通して何を学ぶのかを意識しながら、主体的に学習できるよう配慮されている。
社会 (公民的分野)	東書	<ul style="list-style-type: none"> ・「探究課題」、「まとめの活動」を配置し、思考ツールを使った学習内容の整理・解決により、何を学んだのかを捉えられるよう工夫されている。 ・導入・展開・まとめと見通しをもって、課題解決学習に主体的に取り組めるよう工夫されている。 ・身近な話題から現代社会の見方・考え方を活用して考察する場面を示し、小集団の対話的・協働的なグループ活動ができるよう設定されている。
地図	帝国	<ul style="list-style-type: none"> ・大判化され見やすくなり、比較考察できるよう縮尺が統一され、地域の特徴がとらえやすい。 ・多様な地図が掲載されており、広い視野から日本と世界の地域的な特色を考察させ、課題解決学習を主体的に学習することができる。 ・地図と防災の記録が明確化されており、情報量が整理され、他分野でも活用できるように工夫されている。
数学	東書	<ul style="list-style-type: none"> ・「数学の問題発見・解決の過程」を重視し、生徒が問題解決の進め方を意識しながら、主体的に取り組めるようになっている。 ・既習事項の取扱について、「ちょっと確認」という形で小学校の学習の振り返りがしやすく、難易度のバランスに配慮がある。 ・「深い学び」や「活用の問題」で、見方・考え方を働かせた数学的活動に取り組めるようになっている。
理科	教出	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に探究的な学習に取り組めるように、探究の過程に直結した学習活動が配置されている。 ・課題と結論が示されていて、問題解決的な学習になっている。つまずきを補い、丁寧な学習ができるよう課題が設定されている。 ・観察や実験の前にミニ観察・実験があり、スマールステップで理解が促進されるようになっている。また、手順を示す写真等も豊富である。
音楽	教芸	<ul style="list-style-type: none"> ・「主体的・対話的で深い学び」の学習を行うサポートとなる手順や工夫の視点が具体的に示されている。

(一般)		<ul style="list-style-type: none"> ・音楽科を通して生活や社会の中の音や音楽等、身近な音楽が取り入れられており、音楽の魅力や広がり、期待感がふくらむつくりになっている。 ・歌唱が赤、創作が緑、鑑賞が青と色分けされており、写真も大きくて見やすい。
音 楽 (器楽合奏)	教芸	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽の楽しさや喜びを味わわせることに焦点を当て、音楽と関わりながら、学びと自らの生活を繋ぐことができるよう配慮されている。 ・生徒に分かりやすいように楽器の構造や名称を写真や図、イラストで示し、学習のねらいも深い学びにつながるよう工夫されている。 ・生徒の心情に合った曲を設定することで演奏意欲を高め、習熟度に応じたステップを踏んで学習を進め、技能が身につくよう工夫されている。
美 藝	開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間の学習で幅広い活動を通して見方・考え方を働かせ、美術を通して生活や社会との関連が見え、美術文化と関わる資質・能力を育成するような構成となっている。 ・作者の年齢が比較的若く、デザイン等が新しいものが多い。導入や作品解説、作者のコメントから、造形的な視点が理解できるよう工夫されている。 ・育成したい資質や能力が3つの目標として明確に示されており、学びに向かう力を育成できる。進路指導・キャリア教育にも生かせるページがある。
保健体育	大修館	<ul style="list-style-type: none"> ・1時間の学びを3ステップで構成し、確実に知識を習得できるよう工夫されている。問題形式もあり生徒の興味が導かれる工夫がなされている。 ・運動やスポーツには多様な関わり方や楽しみ方があることが記載され、興味・関心、能力に応じて運動やスポーツが楽しめるよう工夫されている。 ・専門的な知識や写真やイラスト等の参考資料が豊富であり、文字量が多く情報量も多い。知識を深める追加資料が充実している。
技術・家庭 (技術分野)	開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な事柄から課題を設定し、設計、製作、評価・改善する構成になっている。技術への関心や課題意識をもてるよう工夫されている。 ・実習例においてもP D C Aサイクルを意識した実習の構成になっていて、学習した内容が社会へと繋がるよう工夫されている。 ・QRコードによる動画や資料など、学習や体験に利用できる資料がふんだんにあり、写真やイラストで分かりやすく説明している。
技術・家庭 (家庭分野)	開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ・「調理方法Q&A」や「製作の基礎・基本」を掲載する等、基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫がなされている。 ・調理実習例は最も多くの参考例を挙げている。調理を比べてみると、横書きで見やすい。また、幼児の発達段階の写真が多くあり、幼児との触れ合いがなくてもイメージしやすい。 ・学習の見通しつけやすく、対話や意見交換の学習活動が取り入れられており、生徒自らの考えを広げ、深められるような工夫がされている。
英 語	開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ・内容整理、発表、場面設定でのやり取り、自己表現活動という構成で、主体的・対話的で深い学びを意識した構成となっている。既習事項を用いて聞く力を、また新出文法等を使う学習活動が設定されている。 ・挿絵、図表、写真で文章の理解を助けるものが使用され、日本の伝統文化、国際理解、S D G sに関連した題材等、広い視点から構成されている。 ・小学校の復習のページが確保されていて、小学校との接続を意識した構成となっている。
道 德	学研	<ul style="list-style-type: none"> ・「命の教育」を重点テーマとし、「生命の尊重」と「いじめ防止」に関する題材を三つのテーマで取り扱っている。また、異なる視点を提示して、多面的・多角的に考えられるようにしている。 ・明確なテーマ設定で、教材配列・構成となっている。他の教科書と異なり、教材の脇に主題名を記載せず、多様な考えを促している。 ・現代的な課題等、資料が幅広く、学習内容に関する写真や資料、発問など、生徒がより深く考えられるように工夫がなされている。